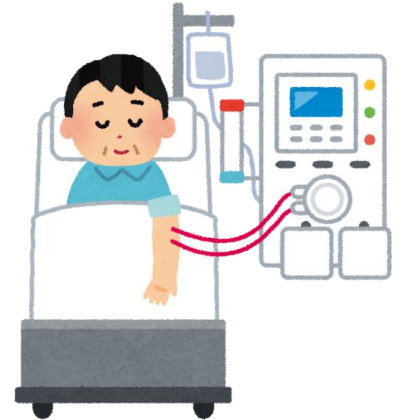




透析の栄養管理



～慢性腎不全とは～

腎不全の状態が数ヶ月～数十年以上の長い間経過した状態を言います。この状態を放置しておく、尿毒症となり生命維持が困難となり、透析治療や腎移植が必要になります。慢性腎不全をきたす原因疾患としては、慢性糸球体腎炎や糖尿病性腎症、膿疱腎、腎硬化症などがあります。

～透析とは～

血中に蓄積した各種物質を、半透膜を介して拡散、限外ろ過、浸透の3つの現象を用いて除去する治療法です。また、透析患者さんは、多数の原因が複合的に関与して、栄養障害に陥りやすい状態にあります。基本原則として、十分量の透析をしたうえで、過不足のないたんぱく質の摂取、十分なエネルギー量の摂取が必要です。

～食事のポイント～

(1)塩分・水分には要注意!

透析患者さんは、腎機能低下に伴い尿量が少なくなります。塩分の摂り過ぎは、口渴による水分の過剰摂取、浮腫の原因になります。

塩分は1日6g程度!



カリウムの多い食材

(2)カリウムを減らす工夫を!

血中でカリウム値が上昇すると、高カリウム血症となり心停止の危険があります。生野菜・生果物は控え、茹でる・水にしばらくさらすなどの工夫が必要です。

(3)たんぱく質は適量で!

たんぱく質の摂り過ぎは、尿素窒素(BUN)やリン(P)、カリウム(K)の上昇に繋がります。不足すると、たんぱく制限に伴うエネルギー不足から、栄養状態が悪くなります。適量を摂取し、炭水化物や脂質で必要なエネルギーを補いましょう。治療用特殊食品やでんぷん製品を利用するのも一つの方法です。

たんぱく質の多く含まれる食材

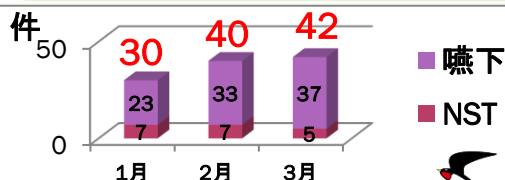


(4)便秘になりにくい生活を!

運動なども大切ですが、調理の工夫をして、食物繊維が多くカリウムの少ない食事にしましょう。

担当:専任看護師 白井華依

月別栄養サポートチーム加算件数



2020年度は650名の方に回診し、488件の算定をとりました。

●勉強会を実施しました!

コネクタの誤接続による医療事故例が国内外で報告されており、医療安全の向上や国際整合による品質の安定供給の観点から、国際規格の導入が決まりました。NSTプロジェクトで2月8・15日に国際規格について、3月18・25日に加圧バックについて、勉強会を行いました。

